

ウィズ通信

性別にかかわらず、一人ひとりが 個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会をめざして

平成24年3月、摂津市は、男女共同参画社会を形成するための基本方針を示す「第3期摂津市男女共同参画計画～ウィズプラン」を策定しました。計画は、男女の人権の尊重と、男女共同参画による新しい社会の創造を基本理念とし、意識改革・環境整備・女性特有の問題の3つの視点から、男女平等教育・学習の推進、あらゆる分野への男女共同参画の促進、女性に対するあらゆる暴力の根絶などの課題について、平成33年(2021年)までの間に取り組む施策の方向性を示しています。

そして、男女共同参画センター・ウィズせつつは、計画を推進するための目的施設として、「出会う・気づく・つながる・行動する」をキーワードに、様々な講座やイベントの開催、市民グループの活動・交流支援、情報資料の提供、女性のための相談を行っています。

ぜひ、お気軽にセンターをのぞいてみてください。きっと、あなたの暮らしや仕事、自らの生き方の選択に役立つと思います。皆さんのお越しをお待ちしています。



摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつは・・・

性別に関わらず、家庭、学校、職場、地域などで、一人ひとりが個人として尊重され、対等な関係を築き、共に責任を担う男女共同参画社会づくりを推進するための目的施設です。

性別による固定的な意識を見直し、女性の自立と社会参画を推進します。また、市民の活動やネットワークづくりを応援します。



摂津市立男女共同参画センター情報誌
「ウィズ通信」は、年に3回、5月・9月・1月に発行します。

男女共同参画 TOPICS

6月23日(土)～29日(金)は、「男女共同参画週間」です。
平成24年度は
「男女共同参画による日本再生」を重点とします。

キャッチフレーズは
「あなたがいる わたしがいる 未来がある」
です。

●内閣府男女共同参画局ホームページ <http://www.gender.go.jp/>



ウィズせつつでは、男女共同参画週間にあわせ、「第3期摂津市男女共同参画計画～ウィズプラン～」の内容を紹介するパネルなど、男女共同参画について考えるパネル展をします。

日時：6月23日～7月14日

場所：コミュニティプラザ エントランスホール
または情報コーナー

ウィズせつつフェスタ 2012

男女共同参画社会の実現をめざす市民グループの活動発表



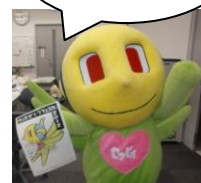
前日、準備のために集まった男女共同参画推進団体と講座修了生グループのみなさん

3月10日(土)、コミュニティプラザにて、男女共同参画推進団体と講座修了生グループが一堂に集まり、ウィズせつつフェスタ2012を開催しました。一年間の活動成果を、男女共同参画をテーマとした展示や舞台発表、手づくりマルシェ、参加型の催しなど、バラエティに富んだ企画により発表しました。

昨年は、フェスタ前日の3月11日に東日本大震災が発生し、複雑な思いの中フェスタを開催しました。あれから一年ということで、オープニングセレモニーでは参加者一同で黙とうを捧げました。また、今回も市民の方々から多くの義援金が寄せられ、日本赤十字を通して寄付しました。ご協力ありがとうございました。

男女共同参画推進団体と講座修了生グループの方々的一年間の熱心な取り組みに、市民の皆さんから大きな反響が寄せられ、盛況な中、無事に終了しました。

セッピーが応援にきました



ウィズせつつフェスタプレ講演

東日本大震災から一年～今考える私たちの防災～

3月3日(土)、防災について考える講演会を開催しました。保健師のト部裕美さんは、福島県南相馬市の被災地支援ボランティア活動から具体的な例をもとに、男性・女性視点での支援のあり方について話されました。特に、なれない土地での生活に馴染みにくい男性被災者への支援活動について知る機会となりました。また、関西学院大学災害復興制度研究所研究員の山地久美子さんは、女性の視点での防災計画と被災者への支援、そして、男性も女性も共に互いを認め合い、助け合う、男女共同参画の視点での被災地の再建計画と復興支援についてお話しされました。

マスメディアの報道だけでは、知ることができない被災地の状況や、支援の在り方を知ること、今後、防災や地域のまちづくりは男女共同参画の視点での取り組みが必要であることを改めて認識しました。



福島県の被災状況のスライドを
観ながら講師の話を聞く参加者

開催しました

せっつで一番！パパの家事・育児自慢写真コンテスト

ウィズせっつでは前年度に続き、「男は仕事、女は家庭」といった性別役割分担意識にとらわれず、積極的に子育てや家事を楽しむ父親を撮影した写真を募集しました。36 名の方から 68 作品の応募があり、審査の上、入賞 7 作品を決定しました。そしてウィズせっつフェスタ 2012 で表彰式を行い、応募作品すべてを展示し、



多くの市民の方に見ていただくことができました。照れや気負いもなく男性が家事・育児を担う様子や、お手伝いという



立場ではなく積極的に関わっている写真を見て、性別役割分担意識を見直す機会になり、社会の変化を感じていただけたと思います。男性が家事・育児に積極的に関わることで、母親の負担感、孤立感はかなり解消できます。また男性の働き方を見直し、企業や社会の意識変革につながることを願います。

スーパーパパ賞はこの2点！



核家族で子育ての孤立化が問題になっている昨今。同じ年頃の子どもをもつパパが楽しそうに公園デビュー。地域にこんなパパ友が増えるといいですね。



育休を取得したパパ！
お子さんの目にパパへの信頼の光が見えます。

パパとほっこりで賞



素敵なパパで賞



育メンで賞



せっつベスト賞



家事メンで賞



★★★★★★★★ 平成24年度に開講予定の講座・イベント ★★★★★★★★

男女共同参画社会センターの講座は、「第3期摂津市男女共同参画計画～ウィズプラン～」に基づいて開催します。くわしくは摂津市広報やセミナーガイド、ホームページをご覧ください。

	回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
せつつ女性大学	10				7/3・17	—				12/4			
男女共同参画セミナー	1				7/3								
せつつパパスクール	6		5/12	—	7/21								
パパの家事・育児自慢写真コンテスト	—												
女性のためのお金の話	3			6/28	7/26								
ハンドメイドの会	6												
DV 防止セミナー	1								11/11				
ひよっこ広場	12	4/19	5/17	6/21	7/19	8/26	9/20	10/18	11/17	12/20	1/17	2/21	3/21
ウィズほっとサロン	3												
チャレンジ講座	未定												
ウィズせつつフェスタ	1												3/9

男女共同参画セミナーを開催します！ 6月1日から受付



世界の山々をめざして ～人生は8合目からがおもしろい～

日時：7月3日（火）午後1時30分～3時30分

講師：田部井 淳子（登山家）

場所：摂津市立コミュニティプラザ3階コンベンションホール

定員：120名

※お子さんの一時預かり（1歳6ヵ月～就学前児、要予約）・手話通訳あり



女性で世界初、エベレスト登頂成功！

◇田部井淳子プロフィール◇

1939年福島県三春町生まれ。1969年『女子だけで海外遠征を』を合言葉に女子登攀クラブを設立。1975年エベレスト日本女子登山隊 副隊長兼登攀隊長として、最高峰エベレストに女性世界初の登頂に成功。1992年女性で世界初の7大陸最高峰登頂者となる。NPO法人ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト（HAT-J）代表を務めるなど奔走する毎日。著書に「タベいさん頂上だよ」（ヤマケイ文庫）、「田部井淳子の人生は8合目からがおもしろい」（主婦と生活社）など多数。

編集・発行 摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ

●開館時間：月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時
火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

●休館日：水曜日・祝日・年末年始

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ1階

TEL：06-4860-7112 FAX：06-4860-7113

ホームページ：http://with-settsu.jp e-mail：danjyo@with-settsu.jp



2012年5月発行